

2021年2月10日

CDP から環境対応の3分野で最高評価を獲得 「Supplier Engagement Leader 2020」に選定

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：寺本克弘）は、「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価である「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に選定されました。当社は既に「気候変動」および「水セキュリティ」でも「Aリスト」に選定されており、2020年度は3分野での最高評価獲得となりました。

CDPは、運用資産総額106兆米ドルに達する世界の515の機関投資家を代表し、企業の環境に関する取り組みの情報を収集、評価しています。この内、「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、気候変動問題に対する企業のサプライチェーンへの働きかけについて評価するものです。世界の8,000社を超える企業を対象に評価が実施され、温室効果ガス排出量を削減し、サプライチェーンの気候リスクを管理するための行動と戦略が認められた当社を含む396社が「リーダー・ボード」に選定されました。

今後もナブテスコは、持続可能な社会の実現に向けて、環境・社会の諸課題の解決に取り組み、さまざまな活動を推進してまいります。



CLIMATE



WATER



2020

以上